

# さまざまな事業でお役立ち度を高めたい

## みやぎ生協、宅配水・車検・葬祭・保険の事業でも復興支援



事務所に設置されている宅配水のボトル。

みやぎ生協では、店舗事業、宅配事業だけに限らず、各事業においても復興に向けての取り組みを行なっています。

生協の宅配水を配達する(株)コープ総合サービスは、沿岸地域を中心とした38カ所の設置先にボトルを無

償支援しています。支援数は2012年4月度～10月度の合計で2,147本です。11月度からは、みやぎ生協独自で「被災された方が利用する施設」「水道復旧が遅れている地域の施設」を中心に無償でボトルの支援を行なっています。

車検事業では、車検入庫1台につき50円を「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」に寄付する活動を続けています。2012年度累計で11万7,150円(2,343台分)を寄付しました。

また、葬祭事業プリエでは、返礼品カタログ掲載の「子ども未来創造基金対象商品」1点利用につき5円を「東日本大震災みやぎ子ども育英募

金」に寄付しています。支援金額は1,155円(231点分)となりました。

さらに、協同保険センター<sup>※</sup>では、あいおいニッセイ同和損保の自動車保険証券と火災保険証券についているベルマークを集め、被災地の学校へ寄贈をする取り組みを行なっており、11月度までに322点、1万200円が集まりました。また、アフラックのEVER・がんの契約が成立した場合、1件につき代理店から100円、アフラックから100円の、合わせて200円を震災遺児に対して支援しており、4万4,960円(225点分)を支援金として贈呈しました。

<sup>※</sup>みやぎ生協が出資、設立した組合員の保険を担当する関連会社。

# 岩手県、各所で年末のお振る舞い

## 岩手県生協連、いわて生協など、被災地域で活躍



田老町仮設住宅での昼食交流。話が弾む。

「消費者行政の充実をめざすネットワークいわて」、「いわて食・農ネット」(両団体とも、岩手県生協連が構成団体として参加)は、2012年12月26日に岩手県宮古市田老地区の仮設住宅で行なわれた「お茶っこ会と弁護士との説明会」終了後、けんちんみそ煮込みうどんなどの炊

き出し支援を行ないました。

これは、「ボランティアをしたい」、「支援の思いを風化させたくないで被災地域に行きたい」などといった大学生協からの声や、「あまり炊き出し支援がない」との仮設住宅からの要望もあり、昨年末の実施に続き開催されたものです。当日は、岩手大学生協の学生委員5人に加え、「消費者行政の充実をめざすネットワークいわて」、「いわて食・農ネット」から12人が参加しました。

また、いわて生協でも、クリスマスと年末に振る舞い企画を行ないました。いわて生協では、12月24日にクリスマスメニュー(ローストチキン、クリームシチュー、ケーキ

など)、29日・30日には、おせちメニューの振る舞いを行ないました。いわて生協からの参加者はのべ93人、それに加え、よどがわ市民生協、ならコープ、おおさかパルコープの計170人の参加者も炊き出しに参加し、陸前高田市、大槌町の仮設住宅計22カ所で振る舞いが行なわれました。



いわて生協振る舞いの様子。